



そうじや 復興レポート

西日本豪雨の復興状況などをお伝えします。

被災家屋などの 公費解体始まる



取り壊しに着手した農業用倉庫（写真上）。解体に向けた立会で工事内容を確認する（写真右）



半 壊以上の被害を受けた家屋などを、所有者に代わって市が解体する公費解体が始まりました。12月20日から、所有者立ち会いのもと、工事内容の最終確認を行うための現場立会が始まり、25日から順

次取り壊し工事に着手しました。公費解体は1月15日時点で、下原地区と昭和地区を合わせて約80件（約150棟）を受け付け。今夏中には申請があった建物の解体・撤去を全て完了する見

込みです。公費解体の申請は、3月未まで受け付けています。公費解体を予定している人は、早めの申請をお願いします。**問い合わせ** 環境課家屋解体担当（☎⑨8587）

心温まるクリスマスを

被災世帯に ケーキを配布

少 しでも心温まるクリスマスを被災者に過ごしてもらおうと、市ではおおむね半壊以上の被害を受けた世帯のうち、希望のあった約420世帯にクリスマスケーキを贈りました。ケーキは12月24日、市役

所、下原公会堂、昭和公民館などで被災者に手渡されました。被災者の一人は、「家族みんなでケーキを食べて過ごしたい」と話していました。**問い合わせ** 福祉課福祉総務係（☎⑨8264）



市役所でサンタクロースからクリスマスケーキを受け取る

下原・昭和地区で 復興願い餅つき



力を込めて餅をつく【12/22、なっちゃん市】

維 新小学校区で開催されている「なっちゃん市」と下原公会堂前の倉庫で、それぞれ12月22日と1月4日、餅つきが行われました。使用された餅米は「被災地に元気を」と12月14日、下原・昭和の両地区に寄贈されたもの。きな粉餅やあんこ餅、ぜんざいとして振る舞われ、参加者は早期復興と無病息災を願ってつきたての餅を口にし、舌鼓を打っていました。**問い合わせ** 復興推進室（☎⑨8570）

全国から

総社市役所へ

新 たに3人の応援職員を歓迎しました。氏名・配属などは次のとおりです。

問い合わせ 総務課職員係（☎⑨8220）



神奈川県伊勢原市から
田中 誉人（危機管理室）
短い期間ですが、総社市の復興のため、微力ながら精一杯がんばります。



福井県小浜市から
重田 敬之（税務課）
総社での生活に早く慣れ、皆さまのお役に立てるよう精一杯努めます。



香川県三豊市から
高橋 正人（税務課）
総社市の1日も早い復興を願い業務にあたります。よろしくお願いたします。

下原地区で クリスマス会



アンサンブルの演奏を楽しむ

が開催されました。アルミ工場の爆発で天井が壊れ、ブルーシートが掛けられた倉庫には「アンサンブル総社」によるクラシック演奏が響き渡り、被災者の心を癒しました。このほか、炊き出しなども行われ、約150人の参加者は復興に向け英気を養っていました。**問い合わせ** 復興推進室（☎⑨8570）

4回目の 災害義援金を順次配布中

全国から寄せられた災害義援金は、県を通じて被災自治体に配分されています。市では、配分のあった災害義援金を下の表のとおり配布しています。4回目の災害義援金については、12月に対象者へ案内文と申請書を送付していますので、手続きがまだの方は早めの申請をお願いします。

問い合わせ 福祉課福祉総務係（☎⑨8264）

	12月現在			
	1回目 (災害支援金)	2回目 (災害見舞金)	3回目 (生活スタート資金)	4回目 (災害義援金)
全壊	5万円	100万円	10万円	50万円
大規模半壊	5万円	50万円	10万円	50万円
半壊	5万円	20万円	10万円	50万円
一部損壊	5万円	—	—	—

総社市への支援金
ありがとうございました

9億479万円

西日本豪雨に伴う支援金は1月7日までに、9億479万6283円（県からの義援金を含む）をお寄せいただいています。

温かい支援に心よりお礼申し上げます。全員のお名前を掲載するのが本意ではございますが、紙面の都合上100万円以上の寄付をいただいた個人・団体のみ掲載させていただきます。

■高額寄付者（12/8～1/7）
岡山県市長会、ものづくり産業労働組合 JAM 【順不同、敬称略】

■被害状況 被災証明書発行件数（住家のみ）

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
83	168	354	515

1月7日現在